

令和7年6月27日

# 二宮町教育委員会議録

( 定例会・臨時会 )

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時 30分
- 2 閉会時間 10時 33分
- 3 教育長名 和田 智司
- 4 署名委員 藤原 直彦
- 5 教育長及び委員

| 出欠席 | 職名               | 氏名     |
|-----|------------------|--------|
| ×   | 教育長              | 和田 智司  |
| ○   | 教育委員<br>教育長職務代理者 | 杉本 かおり |
| ○   | 教育委員             | 古正 栄司  |
| ○   | 教育委員             | 三好 祐太  |
| ○   | 教育委員             | 藤原 直彦  |

- 6 出席者氏名
- |              |       |
|--------------|-------|
| 教育部長         | 松本 幸生 |
| 教育総務課長       | 田嶋 卓司 |
| 教育指導課長       | 倉重 成歩 |
| 教育指導課課長代理    | 高谷 松慶 |
| 生涯学習課長       | 山下 昌志 |
| 教育指導課指導班長    | 加藤 昭浩 |
| 教育総務課教育総務班長  | 高橋 篤史 |
| 教育総務課教育総務班主事 | 川名 義紀 |
- 7 傍聴者 4名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主事 川名 義紀

## 1 開会宣言

(教育長職務代理) 令和7年度6月定例教育委員会議を開催します。

## 2 署名委員の氏名

藤原委員を指名する。

## 3 教育長事務報告

(教育部長) 6月政策会議結果報告・議会定例会報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(藤原委員) 議会定例会報告の一石議員の質問に要旨6の提言書をいかに受けとめたかがあるが、要旨と答弁のどちらも具体的でないと思う。提言書をいかに受けとめたのかと質問されたことで、提言書の中に書いてある具体的な話等について答えたのか。それとも要旨なので、要約されているが実際には教育委員会としてどのように進めていくのか質問を受けたのでこのように答えているのか。

(教育部長) 議員は質問時間が限られている。また要旨が多く充分時間をかけて議論ができたかというところではない。この要旨の通り、教育委員会としてどのように進めていくのかを中心にした質問だった。そのため、個々の細かいところまでは入っていない。

(藤原委員) いかに受けとめたかと聞かれても、どの軸で聞いているのかわからないことではあまり議論が深まらないと思う。いかに受けとめたかと聞かれた議員はどのように受けとめて欲しいのか、どのようにした方が良いのかをいただくと、それを踏まえて検討できると思う。そのため、可能であればどのように考えているのか、どのようなアイデアがあるかを聞ける場にできれば良いと思う。どのように進めるのが良いかはわからないが、町民のためになることだと思う。

(教育部長) 議会では聞かれた質問に答える形になっている。そのため新しいアイデアを検討するのは難しい。しかし、別の場面・別の形で議論を深められるように考えていかなければならないと思う。

(藤原委員) 放課後子ども教室について、土日開催はすごく良いと思う。参加率は土曜日が少なめで、日曜日はそれなりにいるのかと思う。そこをどのように受けとめているのか。また、放課後子ども教室について、中学生にも入ってもらえると、小中一貫としても見せていけて良いと思う。小中が一緒になるような場を設けることを、今回の知見も踏まえて考えていただいても良いかと思う。

(生涯学習課長) 土日のどちらが参加しやすいのかは難しいと思う。しかし、今後一色小学校で行う際に、土日開催についてLINEでアンケートを取ろうと思っている。その中でまた来年度に活かしていきたいと思う。中学生については、子ども達に意向調査をすると、バスケットボールを教えてもらいたいなど意見がある。そのため、中学生が指導する

立場で参加してもらおう。そのような仕組みをできれば良いと思うし、研究していきたいと思う。ただし、皆で見守っていく仕組みも作っていききたいと思うし、放課後子ども教室も継続してきているので、そこで育った子ども達が何かをできる場になるとより良いと思う。

(藤原委員) 小学生、中学生と分けて考えるとそうだが、兄弟と考えれば小中など関係ない。だからどのように行くと参加したいかを聞いていただけると良いと思う。

(古正委員) 政策会議結果報告にある不登校対応や特別支援学級に係る加配定数の充実、議会定例会報告の陳情で採択をされた教職員定数改善については、しっかりと改善していかなければならないと感じている。特別支援学級の場合、現在児童8人に対して、教職員1人が定数として割り当てられている。だが、とても8人を1人で見ることは難しい。二宮町では、学校に加配教員や多くの支援教育補助員を配置し、どうにか現場は乗り切っている。しかし、情緒に課題のある児童が些細なことから衝動的に喧嘩をしてしまったときに、児童が突発性や衝動性などの課題を抱えているケースでは教職員が1人だと、双方を抑えることが難しい場合がある。何かきっかけとなってクールダウンや個別対応が必要になることはよくある。そんな時に8人の児童生徒に対して教員1人できめ細かな丁寧な対応ができるわけがない。これは特別支援学級に限ったことではないかもしれないが、大人の手や目が多くなるように改善していただきたいと思う。特に情緒障害児学級に関しては、少しでも早く定数改善ができると良いと思う。これは町や議会等から声を上げていただけたら良いと思う。次に、二宮町では部活動について地域の指導者や、拠点校方式、それから指定校変更など、いろいろと手を尽くし対応していて大変ありがたいと思う。今後も、特に教育現場で働いている教職員の意見を聞いていただくと、部活動のさらなる改善策など良いアイデアが出てくると思うのでお願いしたい。最後に議会定例会報告のほっとルームやリエゾンについて、二宮町は子ども達の居場所づくりについて本気で考えて取り組んでいる素晴らしい自治体だと思う。また、学びの多様化学校についても、いろいろと研究をされている。一方で、二宮町では施設一体型の小中一貫教育を目指しているの、なかなか学びの多様化学校を目指すのは難しいが、調査研究をしていただき、ハード面ソフト面について参考にできるもの、取り入れられるものについては、積極的に町の教育行政、教育施策に反映していただきたいと思う。

(教育部長) 定数改善について、国や県への要望として、特別支援学級の教職員の定数を改善してもらいたいの第1であり、支援教育補助員を町費で対応しているが、町費負担もかなり大きいので、国や県に見てもらえるように要望していく。部活動については、顧問がいて初めて部活動として成り立つので、顧問を配置できるかどうかは学校としては厳しい。そのような経過から、例えば二宮西中学校には無いけど二宮中学校にはある部活だったら、今まで指定校変更しないとその部活に参加できなかったのを、今年度から二宮西中学校に所属しながら、二宮中学校の部活に参加できるような選択肢を増やした。ただ、やはり課題もあり、放課後にその生徒が別の中学校へ移動して部活に参

加できるかというとなかなか難しい。そのような事情もあるので、教育委員会として部活動のあり方はしっかりと考えていかなければならない重要な課題だととらえている。最後にほっとルームや学びの多様化学校については、議会でも特に学びの多様化学校は非常に関心があり研究を行っている。先日、大和市の学びの多様化学校に、議会で視察を組んでいただき見学してきた。また、7月上旬には、鎌倉の学びの多様化学校へ見学に行く予定となっている。いろいろな情報を集めながら、二宮町としてどのようなやり方が良いのかをしっかりと考えていきたいと思う。

(杉本委員) 部活動について、実際に保護者から厳しい状況だと意見を聞いている。拠点校方式が追加され、選択肢が増えたように見えるが、朝練には参加できない。放課後の移動手段がない。結局土日だけの参加になると、レギュラーになれない。指定校変更は、部活のために他の中学校を選択したが、通学が大変で、結果的に学区内に引っ越しをしたという話も聞かれている。選択肢が増えたようで、実際には負担になってしまっているとの意見もあったので、さらなる検討が必要だと思う。また、7月23日に支援教育補助員研修会が予定されているが、これは毎年行っているものか。

(教育指導課長) 令和5年度より支援員の中から声が上がりスタートした。各学校で支援のやり方が違う中で、事例検討や情報交換を行っている。

(杉本委員) 講師が来るというよりは意見交換会の場ということか。

(教育指導課長) 上手くいった事例をみんなで話し合う支援員の情報交換の場と考えている。

(教育部長) 部活動について、学校としても生徒の希望する部活動をさせてあげたいという先生方の気持ちが非常に強くある。ただ一方で現実的には、顧問の配置や部員の数など様々事情がある。一方で二宮西中学校のダンス部や科学部については、生徒達から発案があり、先生へプレゼンまで行い、人数も集まり、顧問も配置でき、立ち上がった経過もある。一方で職員の数は限られている。国では地域移行を推奨しているが、これもなかなか難しい面がある。そんな様々な事情がある中で、拠点校方式や指定校変更など選択肢を増やしていくなど、今できることをまず対応していく。ただ、この先さらに生徒達の人数って減っていくので、そこは非常に大きな課題だと受け止めさらに検討していきたいと思う。

(三好委員) 放課後子ども教室の土日開催について、すごく良いと思う。土日に開催することによって、職員やスタッフの参加率や負担が増加したか。

(生涯学習課長) 今回初めてだったこともあり、すごく減った訳ではないが、何とか対応できたと思っている。職員の負担について、平日開催と変わらず、代休や振替休日を活用し対応している。この放課後子ども教室は、例えば昔遊びやブックパーティー、スポーツなどいろんなメニューを用意し、その中で子どもが自主的に遊び、サポーターはできるだけ見守りを行う。長く続けるために、できるだけ負担を減らしながらも、子どもの居場所を増やしていきたいと考えているので関係者とよく協議しながら進めている

きたいと思う。

(三好委員) 長期に運営できるように負担なく進めていただければと思う。あと、給食の最終日が、学校によってばらつきがあるのはなぜか。

(教育総務課長) それぞれ学校のスケジュール感が合わなかったことが原因となっている。

#### 4 報告・協議事項

##### (1) ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて

(教育総務班長) ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて資料に基づいて説明。

(藤原委員) 中学生や高校生は来るのか。

(教育総務課長) 例年高校生はあまり来ないと思う。

(藤原委員) 戦争は良くないというメッセージだけでもすごく大事だと思う。しかし、あの戦争は良くなかっただけではなく、今もそういうことが起きてしまっているがなぜ起きてしまうのかを考えるきっかけになれば良いと思う。それは授業で行うような気もするが、せっかく人を集めるのであれば、そういう仕掛けみたいなものを検討いただければと良いと思う。

(教育総務班長) 総務課が主催となるが、アニメーションを見るときに、アンケートを検討している。どのような催し物だったら参加しやすいかなどを聴取する予定になっているので、結果を踏まえながら、今後考えていきたいと思う。

(藤原委員) それだと来年になってしまうので、今年何かできる枠があるならやって欲しい。前回駅伝の際に関連コーナーを作っていたと思う。それがそのままとは思わないが、今起きていること、何かちょっと興味を持たれるようなものを置いてみるなど検討していただきと思う。

(教育部長) 今年できるかどうかは分からないが、検討させていただきたいと思う。

##### (2) 二宮育英会奨学生の選考結果等について

- 非公開 -

##### (3) その他

###### 一 次回教育委員会予定 一

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

10時 33分 閉会